

## 2 北区防犯連絡所協議会（北区）

### 地域自主防犯活動活発化促進事業

#### 実施結果報告書

1 団体名	北区防犯連絡所協議会
2 事業名	安全なまちづくり、総ぐるみ運動の実施
3 事業実施結果	<p>1. 反射プレートを作成し、学区内に掲出する 「防犯カメラ促進地区」「まちは見ている」等の文字をあしらった反射プレートを作成し、1学区30枚のプレートを掲出した。</p> <p>(1) 学区防犯連絡所班長による反射プレート作成検討会</p>  <p>令和4年8月27日、北警察署講堂において19学区の防犯連絡所班長が集まり反射プレート作成の経緯や意匠について意見交換を行った。</p> <p>(2) 反射プレートのデザイン（例）</p>  <p>意見交換の結果デザイン案、作成枚数、プレートの仕様等を定めた。また、プレートは警察、防犯協会、学区の連名で作成した。</p> <p>(3) 反射プレート運用開始式</p>  <p>10月5日、愛知県北警察署において北警察署長、北区防犯協会連合会会長立会のもと運用開始式を行った。</p>

#### (4) 防犯プレートの掲出（掲出例）



作成した防犯プレートを学区防犯連絡所班長を通じて学区に配布し、掲出。

#### 2. 昼間、夜間の青色防犯パトロールの実施

北区内の青色防犯パトロール隊に呼びかけてそれぞれの学区で昼夜の青色防犯パトロール活動を行った。



西味鉤学区における青色回転灯パトロール先導による学区の徒歩パトロール



光城学区青色回転灯パトロール出発の様子

#### 3. 子どもの安全安心教育、次世代の防犯ボランティアの育成

楠小学校では、本年北警察署長の委嘱による防犯少年団 10 名が委嘱を受けて活動しているが、楠学区が主導して楠学区防犯キッズ隊を結成し、防犯少年団とともに各種活動を行った。

##### (1) 防犯少年団、楠学区防犯キッズ隊による防犯広報



地元スーパーにおける防犯少年団らによる特殊詐欺防犯広報  
 (2) 防犯少年団、楠学区防犯キッズ隊による警察本部見学会



愛知県警察本部コノハズク広場における研修の様子

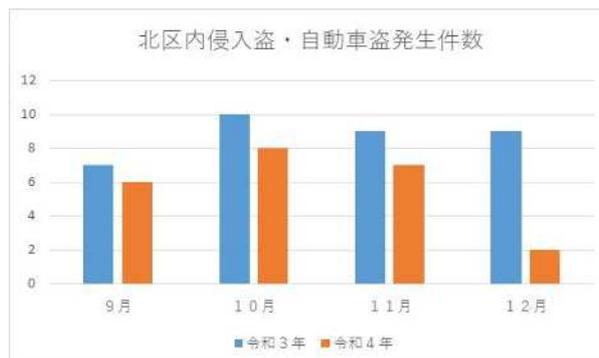


愛知県警察本部前における研修後の代表挨拶

4 成果と課題  
 及び今後の  
 取組み

(1) 事業実施の成果及び課題

- ① 本事業への取り組みを始めて以降、北区内の侵入盗、自動車盗は前年同期比で減少傾向を示しており、光る防犯プレートの掲出、青色回転灯パトロール活動の活性化等の取り組みが効果を発揮していると考えられる。



② 防犯少年団、楠学区防犯キッズ隊の活動については、紹介事例以外にも防犯教室の開催、パトカーの試乗体験等の取り組みを行っており、参加した児童、保護者ともに好評であった。

また、学区の防犯委員等高齢化が進んでいる傾向にあるが、小学生児童と一緒に活動を行うことで活動が活性化し、学区にまとまりができた。

③ 学区ごとに防犯に対する取り組み姿勢に温度差があり、足並みをそろえて同一の施策を行うことに多くの調整を要することが課題であった。

(2) 今後の取り組み

警察や市役所と連携するとともに学区同士の連絡や調整を行い、区内一斉の防犯対策を行うことができる下地をつくる。

防犯少年団、楠学区防犯キッズ隊等の取り組みを継続し、小学生に対して自主防犯意識を育む機会を設けることで防犯ボランティアの育成を図るとともに、高齢化をたどるこの種のボランティアの活性化を図る。

5 参考



心配も  
ん。そ  
ちを庇  
様子  
を予防  
め七月  
を經由  
をフライ  
で飛行  
スタッフ  
がら、  
市ダル  
へ到着  
る村づ  
、日本  
マサイ  
活を送  
が時ち  
、食事  
様子や  
た。毎

### カプトムシから命の大切さ学んで 北区の保育園に青パト隊寄贈



園児たちに採集したカプトムシを贈る倉知隊長（左から2人目）と河村副隊長（左端）＝北区如意1の如意保育園で

北区橋小学校区で児童の見守り活動などを行っている「橋学区地域安全青パトロール隊」は八月二十六日、

同区の如意保育園で、園児四十一人にカプトムシ約四十四匹を贈った。同隊は五十人の隊員が毎

週、青色回転灯パトロール車（青パト）で学区内を見守り。活動の合間に倉知副隊長（左）と河村浩幸副隊長（右）がカプトムシを採集し、子どもたちに喜んでもらう。子どもたちも喜んでもらおうと、十年以上前から北区内の保育園などに配っている。

同保育園で北署が贈呈式を開き、倉知隊長らが園児たちにカプトムシをプレゼント。倉知隊長は「命の大切さや育てることの大変さを学んでもらい、青パト隊の活動も知ってもらいたい」と話した。カプトムシは各クラスで園児らが大事に育てていく。（森本尚平）

年2月25日、経理課顧問として経理業務全般に従事していた中村区の会社で、架反（酒気帯び運転）の罪で

**名古屋市**

## 世帯等 に対する 金 確認書等 の提出はお済みですか？

(家・種別使用許可)

### 目力で伝える防犯意識

北区十学区の防犯班表「防犯カメラの存在知らせ者」でつくる区防犯連絡所を区内に順次掲示している。

北区カメラ設置プレートでPR

北区十学区の防犯班表「防犯カメラの存在知らせ者」でつくる区防犯連絡所を区内に順次掲示している。

防犯カメラの存在知らせプレートを順次掲示している。北区防犯班表「防犯カメラの存在知らせ者」でつくる区防犯連絡所を区内に順次掲示している。

現在約二百十台のカメラが区内にあるが、プレートで「常に監視されている」と防犯意識の高さをアピール。犯罪抑止効果をさらに高めていく狙いだ。

オレンジ色のプレートは、黄色の目が特徴の目印が大きな描かれ、目をあてている」の文言。同連絡所総代の倉知富寿さん（右）は「目立つ黄色い気味の悪いイラストで、犯罪者がどきどきするものものに仕上げた」と話す。経年劣化のしにくいアルミ製でA4サイズ。夜間でも目立つよう反射素材が使われている。イラストは黄色の目の他に、防犯カメラや二つの目が描かれた顔の二種類も用意した。

倉知さんは四月、市内の他の区で開かれた防犯研修に参加。防犯カメラを周知する看板によって犯罪の発生が減少したことを知り、北区防犯協会連合会や北署の協力を得てプレートを作成した。十月五日に、署でプレートを掲げ、区内では自動車協が増加傾向にあり、竹腰正樹長は「プレート」の「目印」で、犯人に「高さを示す予定」倉知さんは「防犯カメラの設置だけで、その存在に気付かない場合がある。プレート」の効力で犯罪を誘うような区としていく」と力を込めた。（森本尚平）

して少人数で効果的に対応できるよう、発表会は日頃守山区で連携訓練市消防連合と消防局震災時に多発すると予想される火災に備え、市消防連合会と市消防局は十月三十日、震災対応連携訓練発表会を、守山区下志段味長瀬間の市消防学校で開いた。

南海トラフ地震が発生すると、市内五十力以上で通常の態勢での対応が難しい。消防団と消防隊が協力して少人数で効果的に対応できるよう、発表会は日頃守山区で連携訓練市消防連合と消防局震災時に多発すると予想される火災に備え、市消防連合会と市消防局は十月三十日、震災対応連携訓練発表会を、守山区下志段味長瀬間の市消防学校で開いた。

震災火災を想定して対応を確認する参加者。守山区下志段味長瀬間の市消防学校で

の訓練成果を共有しようとする。この日は市内全十区から、それぞれ消防団と消防隊一隊、計百人が参加。互いに声を掛け合い、タンク車と可搬式ポンプを使ってホースに水をみみ上げると、火に見立て建物二階に張ったシートへ放水した。

消防団連合会の角田祐三会長（右）は「消防隊と団との連携を強化したい」と話した。